

2023.8.1発行

伊豆市 【No.77】  
議会だより

# 雨 の 日

本号の  
ポイント!

各常任委員会  
現地視察 P10

撮影・タイトル 伊豆総合高校 写真部 1年 館林 沙耶花 さん たてばやし さ や か

# 令和5年6月定例会で、議会は可決・同意をしました。

※詳細はホームページをご覧ください  
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について（静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約）
	令和4年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告について
	令和4年度伊豆市水道事業会計の繰越しの報告について
予算	令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）
	専決処分の報告及びその承認について（令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第1回））
条例	専決処分の報告及びその承認について（伊豆市税条例の一部を改正する条例の一部改正）
	専決処分の報告及びその承認について（伊豆市国民健康保険税条例の一部改正）
	専決処分の報告及びその承認について（伊豆市介護保険条例の一部改正）
	伊豆市地域集会施設条例の一部改正について
	伊豆市立学校設置条例の一部改正について
その他	伊豆市営温泉スタンド条例の廃止について
	伊豆市指定金融機関の指定について
	公の施設の指定管理者の指定について（松原公園）
発議	伊豆市教育長の任命について
	伊豆市議会議員の請負の状況の公開に関する条例の制定について
	☆「公の施設の指定管理者の指定について（松原公園）」に対する附帯決議について

賛否が分かれた議案	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	星谷和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠
公の施設の指定管理者の指定について（松原公園）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
☆「公の施設の指定管理者の指定について（松原公園）」に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対

【☆附帯決議の内容】※一部抜粋

- 仮に機械式ゲートを導入する場合は、市民の利便性を確保し、運用と料金徴収に最大限の配慮を求めること。
- 市は指定管理者に対し、施設管理及び運営に必要な資格を速やかに取得し保持させ、支援すること。
- 市は指定管理者の自助努力を尊重しつつ、良好な関係を確立すること。

# 令和5年伊豆市議会6月定例会

会期：令和5年5月29日(月)～6月26日(月) 29日間  
会場：伊豆市役所本庁2階 議場・委員会室

## ◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
5/29 本会議初日 議会広報委員会	30	31 本会議2日目 (一般質問)	6/1 本会議3日目 (一般質問) 全員協議会	2 本会議3日目 (一般質問)	3	4
5	6	7	8	9 本会議4日目 (議案質疑)	10	11
12 総務経済委員会	13 教育厚生委員会	14	15	16	17	18
19	20 議会運営委員会	21	22 議会改革推進 特別委員会	23	24	25
26 議会運営委員会 本会議最終日 議会広報委員会	27	28	29	30	7/1	2



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載  
アクセスはこちら▶



## 要チェック議案



- ・議案第39号 専決処分の報告及びその承認について（令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第1回））
- ・議案第40号 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）
- ・議案第43号 伊豆市営温泉スタンド条例の廃止について
- ・議案第45号 公の施設の指定管理者の指定について（松原公園）

## 令和5年度伊豆市一般会計補正予算（第1・2回）

詳細 ※1万円以下は切り捨て

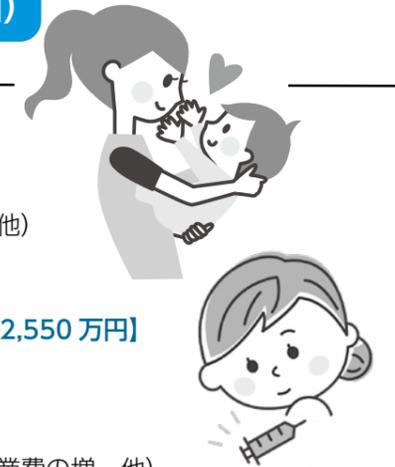
(第1回)

民生費：児童措置費 【2,540万円】  
(低所得のひとり親世帯に対する生活支援特別給付金事業 他)

(第2回)

民生費：社会福祉総務費 / 高齢者福祉費 / 生活保護総務費 【1億2,550万円】  
(住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 他)

衛生費：保健衛生総務費 / 予防費 【1億1,791万円】  
(接種時期の延長に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増 他)





6 / 9・12・13

# 議案質疑 常任委員会

## 議案質疑

### ◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)

**Q** プレミアム付商品券発行事業費補助金の目的とその対象、使用可能な店は。

**A** 事業の目的は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援です。

対象は全市民で、商品券の引換券を各世帯に配布し、一人一冊購入できるように進める予定です。伊豆市商工会がプレミアム付商品券の参加店舗を募集しますので、この事業に参加する店舗が対象です。

見本



※画像は令和3年の商品券

### ◆伊豆市営温泉スタンド条例の廃止

**Q** 八幡温泉スタンドの廃止による影響を、どの程度検証したか。

**A** 利用者への周知として、中伊豆温泉スタンドと原保及び上白岩地区にある民間の温泉スタンドに掲示をしました。また、地元区長に依頼をし、役員会及び回覧で意見を聞いていただきましたが、特段の意見はなく、現区長にも状況説明をしています。

上白岩地区に民間による温泉スタンドが新設されたことから、利用者への影響はないと考えています。議会で議決された後、広報などで周知を行います。

### ◆公の施設指定管理者の指定(松原公園)

**Q** 地元住民などで組織する建設検討委員会で協議した内容が、今後の管理運営に反映されるのか。

**A** 指定管理者募集の際に条件として、市が出席を要請した会議に出席することや、施設の運営に関



松原公園

する会議を開催することなど、関係機関との連絡調整を図ることを求めています。今後は、建設検討委員会に出席し、検討委員会で協議された意見などが管理運営に反映されるよう、指定管理者と協議します。

## 総務経済委員会

### ◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)

**Q** プレミアム商品券は予約券を発送し購入することだが、1億5000万円の内訳は。

**A** 30000円のプレミアム分として、8700万円、その他郵便料や事務費です。合計1億5000万円は、商工会への補助金という形で支出したいと考えています。

### ◆伊豆市営温泉スタンド条例の廃止

**Q** 温泉スタンド条例の廃止ということは、随分前から議論されてきたが、改めて中伊豆温泉スタンドの時系列的な状況は。

**A** 令和2年11月頃湯量が減りくみ上げることができず、休止し現在に至っています。その間63名の利用者が購入した専用コインは返却していただき、返金を行いました。中止ということスタンドなど

に貼り紙をし、処理を進めている状況です。



温泉スタンド

### ◆公の施設の指定管理者の指定(松原公園)

**Q** 年中無休24時間開園という説明があったが、駐車場の管理、警備上の考えはいかがか。

**A** 松原公園は、年中無休の24時間開園という形ですが、警備の関係で、マナーに欠ける使い方をしてる方の対応として、指定管理者から駐車場に機械式のゲートを設置する提案をいただいています。また、防犯カメラを設置することも提案されています。

※「公の施設の指定管理者の指定について」は委員会から指定管理者に対し、市民利用に便宜を図るなどの内容の附帯決議の発議をすることが決定しました。

## 教育厚生委員会

### ◆令和5年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)

**Q** 学校給食費の賄い材料費の追加補正は、前年に比べ子ども数は減るが、当初予算の編成時よりも予想を超えた物価高騰を見越した予算編成ということか。

**A** パンや麺、サラダ油の値上がりにより、予算編成の際に予想していた値上がり幅を、大きく上回る状況になったため計上しています。



**Q** コロナワクチン接種の公費負担の対象人数は何人になるのか

**A** 接種は12歳以上が対象で、人数としては2万8540人で、接種率60%を見込んでいます。

### ◆伊豆市立学校設置条例の一部改正

**Q** 校名が確定することで、具体的にどんな変化があるか

**A** 学校名が承認された後に、校名を反映させた校章や制服エンブレムのデザイン、校歌などの作成を予定しています。



※伊豆中学校完成イメージ

「議案45号」討論

賛成討論 ◆小長谷 順一議員

指定管理者審査会の付帯意見に「伊豆市、海と共に生きる」観光防災まちづくり推進計画」を踏まえ、地域住民や関係団体との連携を密にし、地域振興に寄与することを期待します。」との明記があります。また、総務経済委員会では、市民の利便性を確保することなどの附帯決議の提出が決まりました。指定管理者と情報を共有し、連携しながら地域の活性化に繋がる施設となるよう願います。

反対討論 ◆梶谷 和馬 議員

会社としての実績などが無く、経緯プロセスが成り立ちません。議会での説明も少なく不十分です。指定管理者と相談して決定するとの話ですが、様々な課題や諸問題をクリアしていません。現状では不安要素が多く、成功の確率は低いのではないかと感じます。

※議案40号では、2件の賛成討論がありました。

録画配信はこちら(6月26日本会議)



保育を取り巻く保育士の現状は



問野 みどり 議員

少子化問題の解決に向け、多くの市町が子育て支援に力を入れています。しかしそれと並行して保育士不足や労働体制は大きな問題となっています。今までになかった土曜・休日保育、病児・病後児保育、長時間保育等、様々な新しい施策が考えられると同時に、保育士の負担が心配です。その点はどのように考えていますか。

答 園児の心の安定に対応した職員配置が必要と考えます

子育て支援課長 各園の保育はシフトを組んで対応しているため、勤務時間帯の異なる形態での保育となり、保育士の負担はあると考えています。また、休日保育、土曜保育、病児保育は保護者にとって必要な保育ですが、シフトにより平日に担任が不在になると、園児の心の安定にも影響を及ぼすので、これに対応した職員配置が必要と考えています。



動画はこちら ※他の質問あり

次のページは

一般質問

(続き)

誰一人置き去りにされない教育を



杉山 誠 議員

不登校の子どもが急増している事態を受け、文科省は不登校の総合対策を策定し、自治体や教育委員会の取り組みを求めています。

不登校対策は待ったなしです。子どもたち一人ひとりに光を当て、誰一人置き去りにされない教育の実現に向けて積極的な対応が必要と考えますが、当市の取り組みはいかがでしょうか。

答 児童生徒やその保護者への支援として様々な取り組みを行っています

教育部長 不登校にさせない取り組みは、教育相談やアンケート等で丁寧子どもたちの姿を見ること。また、中学校1年生への移行が円滑に進むよう、小中連携プログラムを活用した教育課程を組むことを大切にしています。不登校の児童生徒への対応では、専門家と連携しつつ、学校がチームとして対応する体制を整備し、初期対応や自立支援に努めています。また、学習支援教室との連携、ICT機器の活用などを進め、不登校の児童生徒を取り残すことなく、社会と繋がることのできる支援を行っていききたいと考えています。

動画はこちら ※他の質問あり

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

検索 からご覧ください。



Android スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone アイフォン

カメラアプリを起動して QRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

自主避難所の整備は



浅田 藤二 議員

施設方針の「使い慣れている自主避難所を増やすことが効果的」への、これから取り組む具体的な施策(制度創設や予算確保)についてご説明ください。

答 施設整備や備蓄品を整えやすい制度に見直します

危機管理監 施設機能の整備や備蓄品を購入するには、県が交付する地震・津波対策等減災交付金制度の活用が有効です。この制度を活用しやすくするため、「補助金交付要綱」の見直しを予定しています。具体的には、整備や備蓄の促進がされるようにしたいと考えています。見直しには様々な庁内協議が必要となりますので、方向性の取りまとめを早々に着手します。



ふらっと月ヶ瀬

動画はこちら ※他の質問あり

伊豆市公共施設再配置計画の推進状況



鈴木 正人 議員

今後の厳しい財政状況に鑑みると、令和5年3月に策定された「伊豆市公共施設再配置計画」に基づく市内公共施設の最適化は着実に進めざるを得ないと理解しています。そこで伺います。平成30年2月に民間事業者と締結した「覚書」に基づく「旧天城湯ヶ島支所等の施設全体の売却に向けた協議」の経緯と現状は如何か伺います。

答 土地・建物は、本年11月まで賃貸借を継続しています

総務部長 令和2年11月に賃貸借契約の期限が到来しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、売却についての具体的な協議に至らず、土地・建物は、本年11月まで賃貸借を継続しています。

建物は、売却を前提とした協議を行っています。土地は引き続き、賃貸借契約による貸付けを継続する予定です。



動画はこちら ※他の質問あり



小長谷 順二議員

DXとはデジタル技術の特性を活用することで、考え方や業務プロセスを根本から変えることです。人口減少社会では職員を募集しても集まらない時代になります。しかし人手不足だからといって公的サービスを止めるわけにはいきません。デジタル社会の実現に向けた、人材の確保及び育成についての現状を伺います。

**答** CIO補佐官を採用し、取り組みを進めてきました

**総合政策部長** 庁内各課にDX推進リーダーを設置し、情報を適切に活用する能力の理解と知識の習得を目的とした研修を行うなど、人材の育成を行っています。

### 質問 どうする自治体DX

**教育部長** 市のCIO補佐官による「情報リテラシー」や「DX推進による社会情勢の変化について」などの講義を教職員向けに計画し、ICT教育の強化に向けた取り組みを行いたいと考えています。今後は、ICT支援員による支援を厚くし、教員の働き方改革を進めるとともに、ICTに対する不得意を無くしていくことで、教育のDX化に向けたデジタル人材の確保と育成に努めたいと考えています。



動画はこちら ※他の質問あり



黒須 淳美議員

平成26年地域の活力低下を食い止めるべく、行政と連携しながら市民自ら考え行動していくことを目的に設立された地域づくり協議会は、第1号の湯ヶ島地区設立から9年目になり9つの学区で設立されました。市制20周年を迎える伊豆市の持続可能な地域づくり推進のために、協議会制度の検証と見直しが必要と考えますがいかがですか

**答** 小学校区を基本とする地域割りを見直すことは時期尚早だと考えます

**市長** 広い地域の伊豆市で、画一的なまちづくりは適切ではないと思います。市長が各地区のまちづくりを主導するのではなく、住民主体で進めていただくべきと考えたのが、地域づくり協議会を提言した理由です。その際、学校や村役場に歩いて行けた頃の地域区分が、適切な地域割りだと判断し、基本的に人口の要素を考慮していません。特に人口の多い修善寺・牧之郷駅周辺では市の直轄事業を展開しています。このような状況が続くなか、小学校区を基本とする地域割りを見直すことは、時期尚早だと考えます。



動画はこちら

### 質問 園児、児童、生徒への食育・栄養指導状況は

総合計画のまちづくりの重点目標に掲げられる次代を担う人材育成の観点から、園児、児童、生徒の心身の成長と健康管理は重要です。保護者は成長期の子どもたちへの給食に多くの期待と信頼を寄せています。栄養科学に基づいた給食を通して園児、児童、生徒に対する食育の実施状況を伺います。

**答** 各所様々な食育に取り組んでいます

**子育て支援課長** 市栄養士が市内全7園に出向き、園児及び保護者に対しての食育教室を実施しています。また、市栄養士と学校栄養教諭等と連携し、全小学校及び義務教育学校5年生を対象に年1回減塩についての食育教室を実施しています。

**教育部長** 栄養教諭・栄養士が作成した給食一口メモを、給食の時間に毎日放送する取り組みや、各学校の食に関する課題をテーマにした、食育教室も行っています。栄養教諭や栄養士は、学校からの要望で、家庭科などの授業にも参加しています。



動画はこちら

飯田 大議員

### 質問 小さな体に重いランドセル



小川 多美子議員

小学生は毎日重いランドセルを背負って登校しています。水筒や体操着を持ち、雨の日には傘も差します。最近では、中学生が使っているようなタイプでランドセルとリュックの機能を兼ね備えた物があります。軽くて丈夫で安全、価格も安いようです。学校では推奨しませんか。

**答** 持ち帰る必要のない教材などは、学校に置いておくよう指導しています

**教育部長** 子どもたちの日々の負担を軽減することを第一に考え、家に持ち帰る必要のないと思われる教材や教員は、基本的には学校に置いておくよう指導しています。ちなみに、中学校では、各校指定の背負うタイプのリュックサック型でほぼ同様の規格です。土肥小中一貫校では、背負うタイプのものでいう以外に指定はありません。新中学校では、推奨品はありませんが、背負うタイプのものでいう以外指定品というものはありません。



動画はこちら ※他の質問あり

### 質問 市内の介護・福祉・医療は持続可能ですか



三田 忠男議員

少子高齢化社会により、益々介護・福祉・医療分野の重要性・必要性が増しています。暮らしやすいまちづくり、安心安全なまちづくりの必要条件です。にもかかわらず、担い手不足が深刻です。人材確保のための市の施策を伺います。市独自の奨学金創設を提案いたします。市内で働く外国人材の支援の充実を求めます。

**答** 補助金や奨学金の制度があります。が、外国人労働者支援は状況を見ながら検討します

**健康長寿課長** 人材確保の施策は介護事業所に対する介護人材育成及び定着対策事業補助金や中小企業等奨学金返還支援補助金などの支援を実施しています。奨学金については、医師は県の奨学金制度があり看護師も、県や病院独自の奨学金制度があると確認しています。市の教育委員会に無利子の奨学金制度がありますので、活用を検討いただければと思います。

外国人労働者の支援の施策は、現時点では無く、課題も把握できていませんが、今後の状況を見ながら検討していきます。



動画はこちら

### 質問 市民の安全安心を担保する行政の役割とは



下山 祥二議員

市民の安全安心を守り、日常的に生き生きと暮らし、将来に向けて豊かさを追求するまちづくりは、行政の最大責務です。さらに市民を取巻く多種多様な危険を予知し、市民の生命財産を守る役割も果たすべきです。平和寺敷地内に残存する廃棄物混じりの大量の土砂は、甚大な被害をもたらす危険もあり、その抜本的な解決策を問います。

**答** 県や関係団体等と連携し、最終的な解決に向けて取り組んでいきます

**市民部長** 県の行政代執行による、平和寺敷地からの廃棄物流出防止対策の、早期対応を要請するとともに、市の提起した民事訴訟の確定判決を基に、土砂の撤去等を平和寺側に求めていきます。今後、土砂等の流出防止柵の管理や、水質検査等を行うことで、環境や地域への影響が最小限に抑えられるよう対応していきます。

また、県や関係団体と連携し、地元住民の不安を取り除くことに努め、最終的な解決に向けて取り組んでいきます。



動画はこちら

## 政務活動費の報告

政務活動費とは、議員の調査研究・その他活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、地方自治法に基づき、条例で金額、用途の範囲などを定めています。伊豆市議会では、会派及び会派に所属しない議員に対し、1人当たり月額1万5千円を交付することとし、議員の資質向上のための調査研究や資料購入などに活用しています。また、経費の範囲や用途について透明性の確保に努めるため、各会派及び議員の会計資料(領収書、収支明細等)を公開しています。

政務活動費はこちら▶



### 令和4年度政務活動費の執行状況

(円)

会派・個人名	所属人数	収入							返還額
		交付金	調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	事務費	支出計	
I Z U未来	11人	1,980,000	4,490	490,785		297,346		792,621	1,187,379
伊豆クラブ	4人	720,000		225,740	160	254,700	2,380	482,980	237,020
杉山武司※1		180,000				201,612		180,000	0

※1 支出が交付額を上回っている金額は自費

## FMIS で一般質問を放送中

本年度は、FMIS で一般質問の一部を放送しています。6月定例会は、7月3日から7日まで放送しました。お聞きいただいた皆様、ありがとうございました。伊豆市議会のホームページ (FMIS 議会広報アンケートの回答フォーム) から、放送内容に関してのご意見・ご感想を募集中です。皆様の貴重なご意見をお聞かせください。 ※回答時間は1分程度

**アンケート募集中!**  
アンケートはこちら▶

- 放送予定日** 会期後の5日間 (月～金)
- 放送時間** AM 9:40 から 10分程度
- 内容** ・1日1人、5名分放送  
・議会だよりで取り上げる質問を放送

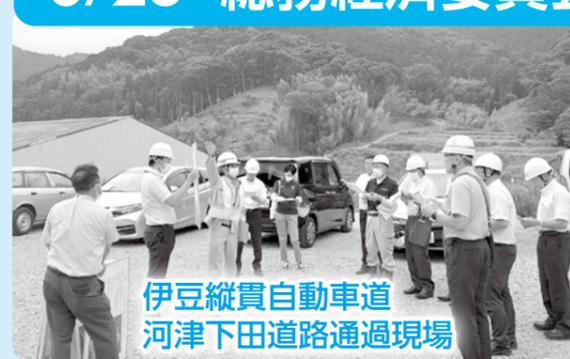


レディモ  
▶スマートフォンアプリ「Radimo」でも聞くことができます。



## 常任委員会所管事務調査 現地視察

### 6/28 総務経済委員会 伊豆縦貫道・観光施設視察



伊豆縦貫自動車道  
河津下田道路通過現場



RECAMP 中伊豆



だるま山 キャンプ場



萬城の滝

### 6/30 教育厚生委員会 就労継続支援B型事業所を視察



特定非営利活動法人 えーる



社会福祉法人春風会 プラム



就労支援事業所 田方・ゆめワーク



イエス YES (生活介護事業所)

# アンケートを実施中!

伊豆市議会だより 検索

## アンケート回答フォーム



Webから  
アンケート  
で回答

ここから  
アンケートへ



✓ 前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。

- ・ QRコードがとても良い
- ・ 議会改革度調査のランクアップおめでとうございます!
- ・ 少子化に関しては、その市や町に合ったやり方があると思うが、どうだろうか。
- ・ 少子化対策に力を入れているのは伝わるが、働ける場所が近くなければ若者は定住しないのではないか。企業の誘致も間接的な少子化対策となりうると感じる。

(★★★★☆ 60代 女性)

(★★★★☆ 30代 男性)

### 広報委員会 委員から

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。少子化に関しては、国も異次元の少子化対策に取り組んでいます。議会としても先行事例などを参考に、子育て支援策を提案していきたいと思っています。今後も市民の皆様から忌憚のないご意見をお待ちしています。

## 表紙が変わりました!



76号から素敵な写真をご提供いただいています。今回は館林沙耶花さんの写真です。次号もお楽しみに!  
※写真は伊豆総合高校での表紙打ち合わせの様子です。

## 9月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
8/28 本会議初日 全員協議会	29 全員協議会	30 本会議2日目 (一般質問)	31 本会議3日目 (一般質問)	9/1 本会議4日目 (一般質問)	2	3
4 9月定例会 (議案質疑)	5	6 連合審査 (総務経済委 員会所管分)	7 連合審査 (教育厚生委 員会所管分)	8 総務経済委員会	9	10
11 教育厚生委員会	12	13	14	15	16	17
18	19 議会運営委員会 (予備日)	20	21	22 9月定例会 (最終日)	23	24

※日程は変更となる場合があります

## 6月 議会広報



5月26日の FMIS生放送で、黒須淳美 議員が定例会のお知らせや報告を行いました。  
次回は8月末に9月定例会のお知らせをします。

## 議会傍聴・視聴 のご案内

本会議は感染症対策をしながら、どなたでも傍聴ができ、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。

アクセスはこちら▶



傍聴に関するお問合せ/

Tel. **0558-72-9906**

(議会事務局)

## 編集後記

近頃はキャッシュレス化が進みスマホひとつで買物が可能な便利な時代になりましたが、来年の上半期に1万円札の顔となる日本資本主義の父といわれる渋沢栄一は「できるだけ多くの人にできるだけの多くの幸福を」という言葉を残しています。それは伊豆市の行政と議会にも相通じるものとして肝に銘じ、できるだけ多くの伊豆市民ができるだけ多くの幸福を感じる市政運営を質していきます。

議会広報委員 下山 祥二



次回は令和5年11月1日発行予定です。

◀ 議会ホームページ